

**令和3年度「ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム  
(次世代医療基盤を支えるゲノム・オミックス解析)」  
事後評価結果**

No.	評価課題名	研究開発 代表者名	所属機関	役職
000-002	慢性心不全発症予防・重症化予防のための次世代医療基盤 確立に向けたゲノム・オミックス解析とデータシェアリング	坂田 泰彦	国立循環器病 研究センター	部長

**【評価コメント】**

医学的・社会的に重要な疾患である慢性心不全について、臨床情報の付随した、全ゲノムデータ、SNP解析データ、エピゲノムデータ、プロテオーム、メタボローム、リピドーム解析と多岐にわたる解析が実施された。今後、統合的な解析による、重症化・予防に資するデータが得られることが期待される。

一方、営利企業に対する公開に制限がかかり、予定していた登録数を達成できず、ゲノム情報の登録や第三者利用の可否について、研究機関や倫理委員会との不一致・齟齬があった。

民間企業の活用ができない状況が懸念され、本プロジェクトの肝にも関係することなので再同意をとるといったような対策が強く望まれる。また、今後は、第三者利用を可能とする同意書作成の努力を期待する。